

平成26年度
一般廃棄物（ごみ）処理実施計画書

中央広域環境施設組合

平成26年4月

平成26年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画

第1章 組合及び施設の概要

1、組合の概要

・組合名	中央広域環境施設組合		
・管理施設	① 中央広域環境センター（ガス化改質炉）阿波市吉野町 ② 中央美化センター（資源化施設・25年度解体完了）吉野川市川島町		
・管理者	阿波市長 野崎 國勝		
・構成市町	阿波市・吉野川市・板野町・上板町（2市2町）		
・対象人口	吉野川市	42,787人	（15,997世帯）
	阿波市	38,009人	（13,409世帯）
	板野町	13,849人	（4,942世帯）
	上板町	12,372人	（4,295世帯）
	合計	107,017人	（38,643世帯）
	平成25年7月人口（県統計調査課資料）		
・業務分担	収集業務	構成市町（直営、委託、許可）	
	中間処理	中央広域環境センター（可燃、不燃、粗大ごみ）	
	資源化处理	構成市町（ビン・陶器類、缶、ペットボトル）	
	最終処分	構成市町	

2、施設概要

(1) 【中央広域環境センター】

・施設名	中央広域環境センター（ガス化改質炉） 〒771-1402		
・所在地	徳島県阿波市吉野町西条字藤原70番地1		
・敷地面積	37,163.53㎡		
・事業年度	平成14年度～平成16年度		
・竣工	平成17年7月		
・処理能力	○ 可燃ごみ		
	処理方式	ガス化改質一体型処理（サーモセレクト式ガス化改質方式）	
	処理能力	120t/日（24時間×3ヶ月連続運転可能）	
	○ 粗大・複合ごみ		
	処理方式	せん断+回転殴打式破碎機	
	処理能力	せん断機（粗破碎）	5t/5h
		破碎機（殴打式）	13t/5h

① 主要施設方式の概要

- ・受入供給設備：ピット&クレーン方式
 ごみ投入扉 3基
 ダンピングボックス用投入扉 1基
- ・燃焼溶融設備：サーモセレクト式ガス化改質方式
 120t/24h
 酸素製造装置 3,600Nm³/hr
 LNG貯槽 80m³
- ・余熱利用設備：ガスエンジン発電機
 (コージェネレーション) 900KW×2基

② 設備・能力諸元

環境センターの排出ガス及び諸元は下表のとおりである。溶融設備は24時間運転である。

表1 ガスエンジン発電機排ガス煙突

処 理 方 式	項 目	120t/日処理時
(ガス化改質炉) ガスエンジン排ガス	煙突高さ	31m
	煙突内筒数	1本
	湿り排出ガス量(基準ごみ)	4,748Nm ³ /h
	乾き排出ガス量(基準ごみ)	4,303Nm ³ /h
	煙突出口ガス温度	245度
	煙突口径	0.40m
	流 速	19.9m/s

表2 ガス焚きボイラー排ガス煙突(ガス焚きボイラー+熱風発生炉)混合排ガス

処 理 方 式	項 目	120t/日処理時
ガス化改質炉 ガス焚きボイラー	煙突高さ	31m
	煙突内筒数	1本
	湿り排出ガス量(基準ごみ)	1,334Nm ³ /h
	乾き排出ガス量(基準ごみ)	1,166Nm ³ /h
	煙突出口ガス温度	272度
	煙突口径	0.64m
	流 速	11.8m/s

表3 平成25年度 中央広域環境センター搬入ごみ実績量

搬入ごみの種類	平成25年度実績量(t)	備 考(対前年比)
燃やせるごみ	29,562.26	96.42(0.33%増)
粗大ごみ(大型・小型不燃ごみ)	368.49	△67.26(15.4%減)
搬入量合計	29,930.75	29.16(0.1%増)

表4 排出基準等の値

☆排ガス分析項目	国の基準	施設基準	運転管理値
ばいじん量	0.04 g / Nm ³ 以下	0.01 g / Nm ³ 以下	☆ ☆ ☆
硫黄酸化物	1,400ppm 以下	20ppm 以下	15ppm 以下
塩化水素	430ppm 以下	20ppm 以下	15ppm 以下
窒素酸化物	250ppm 以下	50ppm 以下	35ppm 以下
ダイオキシン類	0.1 ng / Nm ³ 以下	0.01 ng / Nm ³ 以下	0.005 ng / Nm ³ 以下

(2) 【中央美化センター】*平成25年10月解体工事完了

- ・施設名 中央美化センター（資源化施設）
〒779-3303
- ・所在地 徳島県吉野川市川島町桑村607-23
- ・敷地面積 18,014.21m²
- ・事業年度 昭和52年度～昭和53年度（平成7年度 資源化施設事業）
- ・竣工 昭和54年4月
- ・処理能力
 - 焼却設備（平成17年8月より休炉【焼却炉内部洗浄済】）
処理方式 全連続ストーカ方式
処理能力 94t/日（47t/24h×2基）
 - 資源化設備（平成24年3月末休止）
 - ① 金属資源化設備 圧縮機・10t/5h（アルミ選別・磁選機付き）
 - ② ペットボトル圧縮梱包機・2t/5h
 - ③ 破砕機（ビン・陶器）・30t/5h

表5 平成25年度 中央美化センター搬入ごみ実績量

搬入ごみの種類	平成25年度実績量（t）	備 考
破 碎 物	0	
圧 縮 物	0	
ペットボトル	0	
美化センター搬入ごみ合計	0	

第2章 平成26年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画

1、収 集 運 搬

(1) 組合管理施設に搬入される一般廃棄物の種類と処理主体

組合の管理する中央広域環境センターに搬入される一般廃棄物は、家庭系ごみと事業系ごみである。そのうち、家庭系ごみは①燃やせるごみ、②小型複合ごみ、③大型複合ごみの3種類で、事業系ごみは①燃やせるごみのみ1種類となっている。各ごみ種別の収集運搬、中間処理、最終処分処理の処理主体は以下のとおりである。

表6 家庭から排出されるごみ（集団回収は除く）

種 類	収 集 運 搬	中 間 処 理	最 終 処 分
① 燃やせるごみ	市町（直営・委託）	組 合	組 合（副産物）
② 小型複合ごみ	市町（直営・委託）	市町・組合	市町・組合
③ 大型複合ごみ	市町（直営・委託）	市町・組合	市町・組合
④ 破碎できるごみ	市町（直営・委託）	市町	市町
⑤ 圧縮できるごみ	市町（直営・委託）	市町	市町
⑥ ペットボトル	市町（直営・委託）	市町	市町

表7 事業活動に伴って排出されるごみ

種 類	収 集 運 搬	中 間 処 理	最 終 処 分
① 燃やせるごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・市町（直営・委託） ・許可業者 	<ul style="list-style-type: none"> ・排出事業者 ・組合 	<ul style="list-style-type: none"> ・排出事業者 ・市町 ・組合
④ 破碎できるごみ		<ul style="list-style-type: none"> ・排出事業者 ・市町 	
⑤ 圧縮できるごみ			

* 事業活動に伴って排出されるごみは、排出者自らの責任において適正に処理することを原則とする。

表8 平成26年度 中央広域環境センター一般廃棄物搬入量予測 (単位：t)

種 類	家庭系ごみ	事業系ごみ	搬入予想量計
① 燃やせるごみ	20,600	9,000	29,600
② 小型複合ごみ	300	0	300
③ 大型複合ごみ	200	0	200
予 想 量 合 計	21,100	9,000	30,100

2、 中 間 処 理

(ア) 施設運転計画

(1) 【中央広域環境センター】

① 搬入ごみの受け入れ

- ・可燃ゴミ・・・月～金（但し、土曜日の午前中のみ必要に応じて受け入れ）
- ・小型及び大型複合ゴミ・・・火～金

表9 中央広域環境センターへの搬入予定量（再掲） （単位：t）

種 類	家庭系ごみ	事業系ごみ	搬入予想量計
① 燃やせるごみ	20,600	9,000	29,600
② 小型複合ごみ	300	0	300
③ 大型複合ごみ	200	0	200
予 想 量 合 計	21,100	9,000	30,100

② 設備機器の運転

1) ガス化改質炉

- ・24時間連続運転（3ヶ月以上連続運転可能）・休止予定3回／年

2) 粗大・複合ごみ前処理設備（せん断・破砕機）

- ・5時間／日運転（火～金の運転とし、月曜日は原則として点検調整日とする。）

(2) 【中央美化センター】

*平成25年10月解体工事完了

3、 最 終 処 分

(1) 中央広域環境センター副産物予想量

中央広域環境センターにおいて廃棄物を処理し、下記の副産物量を処分する。

中央広域環境センター副産物搬出予想量 （単位：t）

溶融スラグ	工業塩 濃縮塩水	メタル 金属塊	金属水酸化物	硫 黄	副産物合計
2,400	400	5	300	36	4,801
内保管分 800	850	10			

4、 排出抑制・再資源化計画

(1) 排出抑制の方法

ごみの排出、収集に関しては組合構成市町の吉野川市、阿波市、板野町、上板町の2市2町において実施するものであるが、組合においても構成市町と協力し、次のような啓発事業を行う。

① 施設見学の受け入れ

住民の理解と協力を得るため、組合管理施設の視察を積極的に受け入れる。

② 組合及び構成市町が実施するごみ処理行政に協力的な地域、団体等の表彰。

③ ごみ収集カレンダー及び各種啓発パンフレットの作成・配布